

印西市移動スーパー事業の導入検討に伴う サウンディング型市場調査結果概要

令和8年8月7日

印西市では、買い物が困難な高齢者等の支援を目的として、移動スーパー事業の導入を検討しています。また、本事業を通じて地域交流の創出、見守り機能の充実を図ることを目指しています。

事業の実現可能性や運営手法、導入に当たっての課題等を把握するため、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1 調査概要

(1) 調査対象

移動スーパー事業の導入に関心を有する民間事業者

(2) 実施スケジュール

サウンディング実施要領の公表 令和8年4月20日

サウンディングの実施 令和8年7月7日

2 対話を通じて得られた主な提案の概要

(1) 調査参加者 1者

(2) 事業の方向性に関する意見・提案

- ・移動スーパーは買物支援だけでなく、見守りや地域コミュニティ形成機能を担うことができる。
- ・買物機会の提供により、高齢者の外出促進や住民同士の交流創出が期待できる。
- ・定期訪問を通じて利用者の体調や生活状況の変化を把握し、見守り機能を果たすことができる。

(3) 事業運営に関する意見・提案

- ・市内を複数地区に分けて定期巡回する運営手法が考えられる。
- ・鮮魚、精肉、青果、惣菜、日用品など幅広い商品の販売が可能である。
- ・公共施設等での拠点販売と個別訪問を組み合わせることで、買物支援ニーズへの対応が可能である。

- ・販売拠点は、買物支援ニーズがある地域を踏まえて選定することが重要である。

(4) 交流・見守り機能に関する意見・提案

- ・買物をきっかけに住民同士の自然な交流が生まれることが期待できる。
- ・定期的な訪問により、利用者の異変の早期発見や関係機関との連携が可能となる。
- ・行政との情報共有や見守り協定の締結により、見守り体制の充実が期待できる。

(5) 事業実施に当たっての課題・留意事項

- ・販売パートナーの確保や利用者開拓などに一定の準備期間が必要である。
- ・自治会や地域ネットワークを活用した周知が有効である。
- ・行政との連絡体制や見守り連携の仕組みを整備することが望ましい。

3 今後の取り組み

今回のサウンディング調査により、移動スーパー事業は買物支援に加え、交流促進や見守り機能の充実にも寄与する可能性が確認されました。

市では、本調査でいただいたご意見等を踏まえ、事業スキームや公募条件の整理を進めるとともに、移動スーパー事業の導入に向けた検討を進めてまいります。

【問合せ先】印西市 福祉部 高齢者福祉課 生きがい支援係

電話：0476-33-4592

メール：koureika@city.inzai.chiba.jp